



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場会社名 株式会社エスティック 上場取引所 東
 コード番号 6161 URL http://www.estic.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊勢嶋 勇 (TEL)06(6993)8855
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年3月21日～平成23年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,816	36.5	355	68.0	334	72.2	193	59.6
23年3月期第3四半期	1,330	30.2	211	358.6	194	444.8	121	753.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	14,266 31	— —
23年3月期第3四半期	8,936 55	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	3,063	2,696	88.0	198,281 69
23年3月期	2,890	2,555	88.4	187,926 82

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,696百万円 23年3月期 2,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	4,000 00	4,000 00
24年3月期	—	—	—		
24年3月期(予想)				4,000 00	4,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年3月21日～平成24年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,190	24.4	370	40.9	340	52.1	194	47.1	14,267 85

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	14,710株	23年3月期	14,710株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,113株	23年3月期	1,113株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計期間）

24年3月期3Q	13,597株	23年3月期3Q	13,597株
----------	---------	----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した経済活動が回復基調のなか、追いつけをかけるように発生したタイの洪水問題もようやく終息しつつあるものの、欧州の金融不安による世界経済の景気減速懸念や、長期化する円高による輸出産業への逆風など、依然先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、海外市場では、中国、韓国が第1、第2四半期に引き続き活発な状況が継続しており、次いでアメリカ、メキシコの設備投資も増加傾向で推移しております。

今後も海外市場では、景気減速懸念のある中国においても省力化設備の投資需要は当面継続すると思われま。また、リーマンショック以降に需要が低迷していたアメリカにおいても、自動車の買い替え需要が本格化してきていることから、自動車メーカー各社のアメリカ国内及びメキシコ地域での積極的な設備投資が期待できます。

当社製品の販売状況におきましても同地域を中心に、ナットランナ及びハンドナットランナの販売が好調に推移しております。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高1,816百万円（前年同四半期比36.5%増）、営業利益355百万円（前年同四半期比68.0%増）、経常利益334百万円（前年同四半期比72.2%増）、四半期純利益193百万円（前年同四半期比59.6%増）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、3,063百万円と前事業年度末比172百万円の増加となりました。

これは流動資産については、現金及び預金の減少の一方、受取手形及び売掛金の増加などの影響により2,281百万円と前事業年度末比169百万円の増加となり、固定資産については、782百万円と前事業年度末比3百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、367百万円と前事業年度末比31百万円の増加となりました。

これは主に買掛金が38百万円増加した一方、未払法人税等が3百万円、賞与引当金が10百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,696百万円と前事業年度末比140百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が139百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は552百万円となり、前事業年度末に比べて289百万円の減少となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは199百万円の支出となりました。

これは主に、税引前四半期純利益334百万円などの増加要因があった一方、売上債権の増加額297百万円、たな卸資産の増加額150百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは15百万円の支出となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出8百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは54百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額54百万円の減少要因があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては平成23年10月26日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	603,390	892,394
受取手形及び売掛金	1,046,070	748,864
製品	81,779	57,377
原材料	360,331	332,420
仕掛品	150,216	51,808
その他	63,578	47,739
貸倒引当金	△24,228	△18,538
流動資産合計	2,281,139	2,112,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	108,819	111,351
有形固定資産合計	522,060	524,592
無形固定資産		
投資その他の資産	9,845	9,172
その他	251,023	245,531
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	250,523	245,031
固定資産合計	782,429	778,795
資産合計	3,063,569	2,890,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,728	86,580
未払法人税等	90,228	94,000
賞与引当金	6,126	16,797
役員賞与引当金	9,000	—
その他	54,446	64,861
流動負債合計	284,530	262,239
固定負債		
退職給付引当金	83,003	73,381
固定負債合計	83,003	73,381
負債合計	367,533	335,620

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,715,310	1,575,719
自己株式	△217,684	△217,684
株主資本合計	2,694,375	2,554,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,660	456
評価・換算差額等合計	1,660	456
純資産合計	2,696,036	2,555,240
負債純資産合計	3,063,569	2,890,861

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
売上高	1,330,580	1,816,103
売上原価	832,561	1,137,861
売上総利益	498,019	678,241
販売費及び一般管理費	286,199	322,307
営業利益	211,820	355,934
営業外収益		
受取利息	191	144
受取配当金	365	554
その他	829	680
営業外収益合計	1,386	1,379
営業外費用		
為替差損	18,601	18,604
その他	370	4,230
営業外費用合計	18,971	22,834
経常利益	194,235	334,479
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15,683	—
特別利益合計	15,683	—
税引前四半期純利益	209,918	334,479
法人税、住民税及び事業税	82,092	143,148
法人税等調整額	6,315	△2,647
法人税等合計	88,407	140,500
四半期純利益	121,510	193,979

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	209,918	334,479
減価償却費	14,341	14,760
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,683	5,690
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,701	△10,671
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	9,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,695	9,622
受取利息及び受取配当金	△556	△699
為替差損益(△は益)	14,388	19,057
デリバティブ評価損益(△は益)	370	4,230
売上債権の増減額(△は増加)	△205,539	△297,206
たな卸資産の増減額(△は増加)	66,254	△150,721
仕入債務の増減額(△は減少)	11,657	38,147
その他	14,813	△27,805
小計	114,958	△52,117
利息及び配当金の受取額	579	687
法人税等の支払額	△56,560	△148,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,977	△199,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△2,621	△8,765
無形固定資産の取得による支出	—	△4,142
投資有価証券の取得による支出	△2,736	△2,889
その他	—	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,357	△15,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△67,711	△54,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,711	△54,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,388	△19,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,479	△289,003
現金及び現金同等物の期首残高	635,797	841,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	607,318	552,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。